

順天堂医院ニュース 2016 NO.57

新任教授紹介

腎・高血圧内科

この度、2016年8月1日付けで腎臓内科学講座教授を拝命いたしました。

「肝腎要（かなめ）」というように、腎臓は極めて重要な機能を担っている臓器です。特に、腎臓には血圧・体液調整を介して、全身の恒常性を維持する働きがあります。「心腎連関」、「脳腎連関」などと表現されるように、腎機能が少し悪いだけで、心臓疾患や脳血管障害が重症化することがわかっており、腎機能障害は他臓器疾患にも深く関わります。

当科は、腎臓を介して全身を診ている内科です。先ごろ指定難病になったIgA腎症や急速進行性糸球体腎炎（RPGN）をはじめとする腎炎、ネフローゼ症候群、多発性のう胞腎を含む遺伝性腎疾患など腎固有の疾患から、種々原因に因る慢性腎不全や急性腎障害（AKI）、糖尿病腎症や膠原病など全身性疾患の腎合併症、遺伝性血管性浮腫（HAE）を含む浮腫性疾患、本態性・2次性「高血圧」に至るまで幅広く診察しています。一般的に、自覚症状に乏しいのが腎疾患の特徴です。血尿・蛋白尿などの尿所見異常が、早期の腎機能障害のサインになります。健診等で尿所見異常の指摘を受けた、腎機能障害や高血圧を指摘された、あるいは最近、足や顔のむくみが気になるなど、ご心配な点があればいつでも受診ください。我々が、腎障害および全身の異常の有無に関して的確に診察・診断し、必要に応じて他科の先生達とも連携しながら治療を行います。お気軽に、ご相談ください。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



腎・高血圧内科
鈴木 祐介

順天堂創立175周年記念事業 大学キャンパス・ホスピタル再編事業の進捗について

本郷・お茶の水キャンパスの再編事業のメインプロジェクトであるB棟建設は、2011年4月に着手して、本年7月に総合設計の完了検査を受け、建物が完成いたしました。この建物には、特定機能病院としての高度先進医療を担う医療機能のほかに、最先端の再生医療・ゲノム研究の臨床拠点として、「難病の診断と治療研究センター」を整備いたしました。また、エコホスピタルとしての取り組みとして、国際的に評価の高い環境格付基準であるLEED-2009HealthCareのGold認証を本邦初で取得いたしました。

さらに、1号館の外来機能の拡張として増築工事を平行して進め、本年8月初旬に竣工し、順次稼働を開始しております。本建物の特徴として、以下の5点があります。

- ①放射線診断・治療機器(リニアック、PET-CT、RALS^{※1})の拡充
- ②外来診察、臨床検査、生理機能検査の充実
- ③女性外来(婦人科、女性低侵襲・リプロダクション)、LDR^{※2}の充実
- ④売店(ナチュラルローソン、イートインスペース)の整備
- ⑤1号館の外来各階、B棟2階、D棟地下1階・3階をバリアフリーで接続し、建物間をホスピタルストリートとして整備

また、各街区を取り囲む歩道部分は、緑あふれ、四季の変化を楽しめる癒しの空間となっております。

工事期間中、患者さんをはじめ多くの方々のご理解・ご協力のもと、診療機能を維持し、工事を無事進めることができました。

引き続き、さらなる高度先進医療の提供、患者サービスの向上、臨床教育の充実を行うために、1号館(平成5年竣工)の外来・手術・病棟のリニューアル工事の計画を進めています。

今後とも、学是である「仁」「不断前進」のもと、世界の医療をリードできるよう診療・教育・研究分野の発展に邁進してまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

※1 RALS

Remote After Loading System(遠隔操作密封小線源治療)

※2 LDR

陣痛(Labor)～分娩(Delivery)～産後の回復(Recovery)まで同じ部屋で過ごすこと



2015年5月に消化器・低侵襲外科を開設させていただき、教授に就任いたしました。消化器・低侵襲外科は、胃がんに対する腹腔鏡手術など、消化器疾患に対する体に優しい外科治療を推進するために創設された新しい診療科です。



教授
福永 哲

近年、消化器外科では急激に腹腔鏡手術などの低侵襲治療が進み、すでに本邦の胃がん手術の約40%がこの腹腔鏡手術で行われています。我々は1994年に国内に先駆けてこの胃がんに対する腹腔鏡手術を導入し、国内でも有数の治療経験があり、現在では早期胃がんのみならず進行胃がんや食道浸潤のある胃がんにもこの腹腔鏡手術を行っています。またこの豊富な経験をもとに、GIST等の胃粘膜下腫瘍、食道裂孔ヘルニア、食道アカラシア、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、胆石症、脾疾患に対する腹腔鏡手術も積極的に行っています。

またこれまで新たな低侵襲治療の開発に注力し、我々の開発した消化管腫瘍に対する内視鏡下全層切除＋腹腔鏡下閉鎖術によって、既存の治療法では諦めていた高齢の患者さんが治療できたケースもあります。

今後も根治性、安全性、低侵襲性を兼ね備えた外科手術を推進します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



当科のホームページが開設されました。ぜひご覧ください。

消化器・低侵襲外科ホームページ

<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/teishinsyu/>

直腸がんに対する 肛門機能温存手術に関して

大腸・肛門外科 高橋 玄

大腸がんの中でも直腸がんの手術では、がんの位置が肛門に近いため、患者さんの多くが人工肛門のことを気にされます。今回は、直腸がん手術と人工肛門・肛門機能の温存について説明をします。

直腸がんは、肛門から比較的離れた「上部直腸がん」と、肛門に近い「下部直腸がん」に分類されます。以前は「下部直腸がん」と診断されれば永久的な人工肛門を腹壁に造設し、肛門機能が失われる手術が多く行われていました。近年では、腸管吻合法の進歩、術前治療（化学療法・放射線化学療法を行った症例）の導入、一時的人工肛門の利用、などのおかげで永久的な人工肛門を免れ、最終的には肛門機能が温存できる機会が増えてまいりました。当科では、究極の肛門温存手術である内肛門括約筋切開術（ISR）を腹腔鏡手術に導入し、できる限り肛門機能の温存を目指しております。

当科では、2013年～2016年の間に「下部直腸がん」の手術を約100例の患者さんに行いました。そのうち、腹腔鏡手術は98%、ISRは13%、術前治療は18%に施行しており、結果的に、肛門温存率は56%でした。一般的に肛門温存が困難と言われる下部直腸がんに対し、様々な工夫を取り入れ、半数以上で肛門温存が可能となっております。

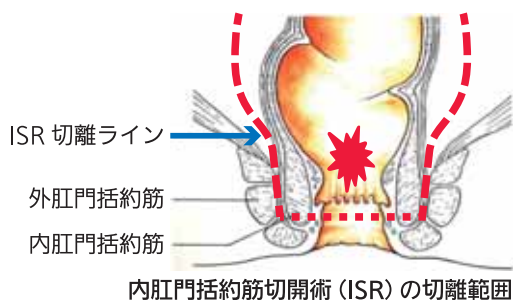
今後もできる限り肛門機能を温存して、患者さんに満足していただけるように努力してまいります。



教授
坂本 一博



准教授
高橋 玄



大腸内視鏡写真（術前）

下部直腸がん



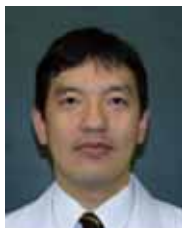
大腸内視鏡写真（術後1年）

吻合部

悪性腫瘍における不均一性と治療方法

腫瘍内科 山口 茂夫

従来、悪性腫瘍、いわゆる「がん」は部位別の診断と治療が行われてきました。胃がん、乳がん、肺がんなど、必ず「がん」の前に臓器の名前が付いています。近年の分子生物学の発展により、肺がんと同じ診断がついても、生物学的な成り立ちが異なっていることが明らかになっています。各個人に個性があるように、同じ診断名（例えば肺がん）でも、患者さんそれぞれの抱えているがんにも差異を認めます。これを疾患内での「不均一性」と呼びます。そのような状況の中で、違う診断名がついたとしても（例えば胃がんと乳がん）、同じような分子生物学的な特徴を有していた場合（例えば HER2 タンパク陽性）、その特徴をターゲットにした同じ治療薬を使用することがあります。各患者さんのがんの特徴に基づいた治療を行うために、がんの遺伝子の変異を調べて、各遺伝子変異に対応した治療薬を使用しようという動きも出てきていて、順天堂大学でも開始しています。また、同じ体内にあるがんでも、それぞれのがん細胞の特徴が異なっており、これを患者体内での「不均一性」と呼んでいます。今後、体内での不均一性をどのように評価して治療戦略を立てていくかは大きな課題で、研究を進める必要性があります。



教授
加藤 俊介



助手
山口 茂夫

植え込み型ループ心電計による失神の精査

循環器内科 関田 学

失神とは、脳の一時的な血流低下による意識消失発作のことです。失神の原因は幅が広いですが、心血管系因子による失神は生命予後が悪く、突然死につながる恐れがあるため、原因を突き止め適切な治療を行う必要があります。

しかし、基礎心疾患のない例では、通常の心電図で異常が見つかることは稀で、24 時間心電図記録（ホルター心電図検査）を繰り返して行っても、症状もなく異常を捉えられないことが圧倒的に多いというのが実情です。

植え込み型ループ心電計は、長期間（最長3年間）にわたり心臓の拍動を常に監視し、不整脈や失神などの症状が起きたときの心電図を記録する装置です。心拍リズムに乱れが生じると、自動的に心電図が記録されます。また、専用の携帯型リモコン装置を使って、任意のタイミングで心電図を記録することもできます。手術は局所麻酔で、2 cm 程度の皮膚切開を含む簡単なもので、胸部の皮下に挿入して使用しますが、診断ができ、必要なくなれば体外に取り出します。なお、植え込み中に MRI 撮影（条件付き）を行うことは可能です。



教授
代田 浩之



准教授
関田 学

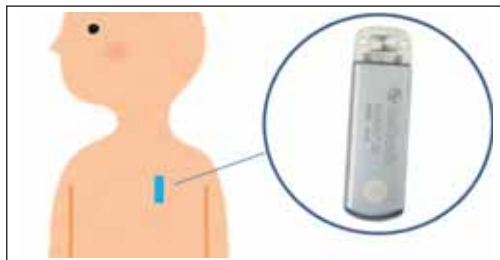
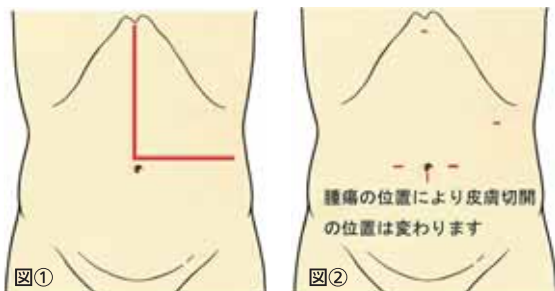


図) ループレコーダーの植え込み位置とサイズ感

現在のループレコーダーのサイズは約 5 × 2 cm 程度ですが、今後はさらに小さなサイズのレコーダーが国内で使用可能になる見込みです。

腹腔鏡下膵体尾部切除術

肝・胆・膵外科 塚田 暁



先任准教授
石崎 陽一



准教授
吉本 次郎

膵臓は胃のうしろにあり、どちらかというと背中側にある 15cm ほどの臓器です。消化液である膵液を分泌する外分泌機能と、インスリンなどのホルモンを分泌する内分泌機能があります。

膵臓の手術では、膵臓が体の奥のほうにあるため、十分な視野を確保するために大きく腹部を開いて行われてきました(図①)。近年、腹腔鏡手術が多くの臓器へ導入され、膵臓にも腹腔鏡手術が行われるようになってきました。腹腔鏡手術は傷を小さくすることができ(図②)、術後の痛みが少ないことや、回復が早いので社会復帰が早くなるといったメリットがあります。ただし、視野が限られており、安全に手術を行うためには慎重に行う必要があります。そのため、対象疾患は膵体部や膵尾部のある良性疾患もしくは悪性度の低い膵腫瘍に限っております。

2012 年より保険診療で認められるようになり、当科でも 2013 年より腹腔鏡下膵体尾部切除術を導入しました。腹腔鏡下膵体尾部切除術をご希望の方は、外来にて医師に相談ください。

10 日で退院できる、 もう一つの人工膝関節置換術

整形外科・スポーツ診療科 石島 旨章



人工膝関節全置換術



人工膝関節単顆置換術



MRI: 膝内側に痛みと関連し進行の可能性が高い病変を認める(白矢印で囲われた部分)



教授
金子 和夫



准教授
石島 旨章

「膝の痛み」による歩行障害のため日常生活に支障をきたし、膝の関節全体を取り換える人工膝関節全置換術(写真左)を受けられる患者さんが増えています。これに対して、傷んだ関節の内側部分のみを取り換える人工膝関節単顆置換術(写真中)の成績が向上しています。当科では、国内でいち早く膝の痛みに対して従来のレントゲンを用いた病気の評価に加え、MRI による評価(写真右)を加えることで、病気が進行する可能性の高い因子をより正確に評価できることを明らかにしてきました。これによって、改善の可能性が低い痛みや病状を早期に判断し、不必要に歩行能力を低下させずに、適切なタイミングで手術を行うことが可能となりました。この手術は、創も従来の約 15cm から約 8 cm 程度となり、自己血輸血を必要とせず、静脈血栓症などの合併症の発生も少なく、術後約 10 日間で退院可能です。膝の痛みで日常生活に支障をきたしている場合には一度、整形外科・スポーツ診療科までご相談ください。

医療福祉相談室ニュース

70歳以上の方の医療費について

- 70歳～74歳の方は、保険証と一緒に『高齢受給者証』を、75歳以上の方は『後期高齢者医療被保険者証』を会計窓口にご提示いただくことで、お支払い額が自己負担限度額《表1》までとなります。
- 通常、事前の手続きは必要ありません。ただし、「低所得者Ⅰ・Ⅱ」に該当する方については、『減額認定証』の交付の手続きが必要です。申請先は、保険者（保険証に記載）です。
- 保険が効かない医療費、室料、入院中の食事代、文書代は対象外です。

《表1》自己負担限度額

所得区分	負担割合	1カ月の自己負担限度額	
		外来（個人）※1	外来+入院（世帯単位）※2
現役並み所得者	3割	44,400円	80,100円+（総医療費-267,000円）×1%
一般		12,000円	44,400円
低所得者Ⅱ （住民税非課税、Ⅰ以外の方）	・70～74歳の方は2割※3	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ （年金収入80万円以下など）	・75歳以上の方は1割		15,000円

※1・※2 外来は個人ごとに自己負担額を合算し自己負担限度額を超えた額、世帯単位は、外来および入院の自己負担額（外来分で払い戻される額は除く）を合算したうえで、世帯単位の自己負担限度額を超えた額を基準とします。

※3 2014年3月末までに70歳に達している方は1割

薬剤部ニュース

がんの痛みや慢性の痛みに対する鎮痛薬について

近年、一般的な鎮痛薬以外にも色々な種類の痛みにも効果のあるお薬が使われています。痛みを抑えることで、できる限り今までと変わらない日常生活を送ることが可能となってきました。痛みを抑えたり和らげることは、QOL（生活の質）の向上につながります。がんの痛みにも用いられてきた麻薬性鎮痛薬についても、飲み薬や注射以外に貼り薬や効き目の早いお薬が登場し、使用方法が選べるようになりました。最小限の副作用で安全に十分な効果を得るには医師の指示通りに正しく使うことが大切です。

薬剤師はライフスタイルに合ったお薬を提案することもできます。必要に応じて、がん治療センターでコメディカル相談（予約制）をお受けすることもできます。お薬について気がかりなことなどありましたらお気軽に薬剤師にお声かけください。



看護部ニュース

小児病棟夏祭り

小児科・小児外科病棟では、入院中の子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらうため、季節ごとの催しを行っています。今年7月10日には恒例の夏祭りを開催し、葛西臨海水族園のご協力で、移動水族園が海の生き物たちを届けてくれました。

移動水族園「うみくる号」では、今子どもたちに大人気のものトドリーのような色鮮やかなサンゴ礁の魚たちと、アジの魚群や鯛・伊勢海老などの東京湾で生息している魚たちを見ることができます。車椅子でも鑑賞ができるため、人工呼吸器装着のお子さんもご両親と一緒に楽しむことができました。ヒトデやナマコ、ウニなど海の生き物と触れあえるタッチプールでは、初めての感触に喜んだり



うみくる号の水槽の様子



金魚すくいを楽しむ子どもたち

驚いたりときまざまな反応がありました。また、医師や栄養士がはっぴ姿で、綿あめやかき氷に焼きそばなど、夏祭り感満載の昼食を提供してくれました。子どもたちは皆、青空の下で両親やきょうだいと一緒に楽しいひと時を過ごしました。室内ではボランティア団体の「まほうのランプ」が主催するビーズ細工やヨーヨー釣り、金魚すくいなどでたくさんの景品を Get しました。梅雨の時期でしたが、皆の気持ちを通じたのか晴天に恵まれ、参加した子どもと家族は総勢 100 名超となりました。

今後もさまざまな職種や部署が協力して、子どもたちの療養環境をより良いものにしていきたいと考えています。

1号館 10階B病棟 看護師長 山口 涼子

栄養部ニュース

減塩のコツは「知ること」「量ること」



健康維持における減塩の大切さはよく知られていますが、私たち日本人は味噌や醤油など食塩系の調味料を多く使い、塩分濃度の高い保存食も多いことから、諸外国に比べて塩分摂取が多いと言われます。食事からの塩分摂取を減らすには、まず食品に含まれている塩分量を知ることです。自分が使っている調味料を量り、使用量を正しく把握することも重要です。味付け自体は薄くてもハムや練り製品の摂取が多い方、麺類や汁物が好きな方は思っている以上に摂取量は増えがちです。料理にかける醤油やドレッシングを今までの半分にするなど薄味を心がけましょう。



管理栄養士 波多江 千恵

臨床検査部ニュース

ISO 15189認定取得

臨床検査部は、2016年6月9日付けでISO 15189「臨床検査室—品質と能力に関する特定要求事項」の認定を取得いたしました。

ISO 15189は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）により設定された臨床検査室の国際規格です。検査室の質を向上し、維持するシステムと技術管理（検査結果を提供する手順など）が審査されます。この認定は、提供する検査サービスが国際基準にあることを意味しております。

今後も、検査サービスの改善と向上に取り組んでまいります。

臨床検査部ホームページ

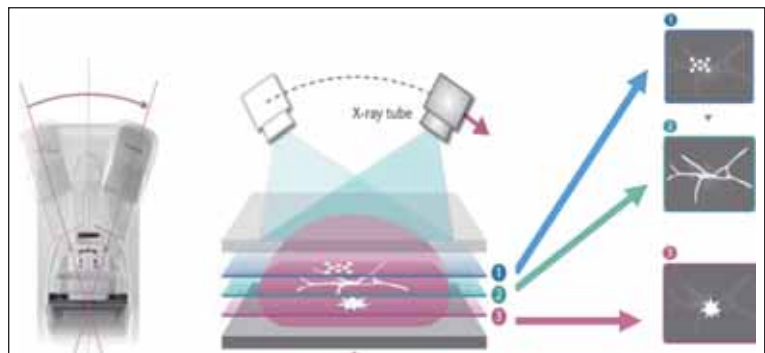
http://www.juntendo.ac.jp/hospital/support/rinsyo_kensabu/index.html



放射線部ニュース

今回は最新のマンモグラフィー装置に搭載されている技術「トモシンセシス」について紹介いたします。

トモシンセシスとは、マンモグラフィー撮影を行った際、病変と乳房組織の重なりにより病変部位が見えなくなってしまう場合、図のような重なりを取り除いた画像をつくることのできる技術です。従来の撮影と同様に乳房を圧迫し、X線を発生させる装置の一部分のみを連続的に多方向へ動かし撮影を行います。若年層に多い乳腺の発達している乳房に対して、診断がし易くなる撮影法として注目されています。撮影時間も従来のマンモグラフィーとほとんど変わらないため、患者さんへの負担を増やすことなく、より良い画像を提供することができます。当院においても導入され、より優れた診断が期待されます。



順天堂医院の今昔

さきのリオオリンピック・パラリンピックで、順天堂大学出身・在籍の選手やコーチ陣などが大勢活躍して、テレビの前で彼らの頑張りに胸を熱くしたことを思い出す。

順天堂の医学教育は江戸時代から180年近い歴史があるが、スポーツ健康科学部は戦後1951(昭和26)年に開設された。1947(昭和22)年に医学部の入学資格が、他学部の医学進学課程(一般教養や語学教育を行う2年間の課程)修了と定められた。これに因って順天堂大学では体育学部(後のスポーツ健康科学部)が開設されることになった。当時は、医学と体育が結びつかず世間の人に不思議がられたという。

病む身体を診る医学部と健康な身体を養成する体育学部を結びつけ、健全な肉体を培い健康や医学を研究する総合大学を目指した先人の英断を、いまとなっては疑うものはいない。順天堂はいつの時代も先駆者であった。

順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ



開設当時の習志野キャンパス校舎
兵舎跡の建物を改築し使用された。

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療サービス支援センター
地域医療連携室(2016年10月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

